



RENGO - NAGASAKI
SASEBOCHIKYO

連合長崎 させぼ

NO. 65

連合長崎 佐世保地域協議会
〒857-0851 佐世保市稲荷町 2-28

TEL (0956) 20-0565

FAX (0956) 20-0567

発行日：2026年2月13日

発行責任者：瀬上徳博

安心社会へ 果敢にアクション
～広げよう「理解・共感・参加」の輪～

新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

組合員とご家族の皆さま方におかれましては、健やかに新年を迎えられますことを心よりお慶び申し上げます。また、年末年始に各職場で勤務された組合員の皆さまにも労いを申し上げます。

さて、2026 春季生活闘争を進めるにあたり連合は、「こだわろう！くらしの向上 ひろげよう！仲間の輪」というスローガンをかけています。このスローガンを高く掲げ佐世保地協としても生活向上のため皆さんと共に取り組みを進めて参ります。

連合長崎でも、これまでの皆さまのご奮闘により、2年連続で5%台の賃上げを実現することができました。しかしながら、私たちのくらしは、ゆとりを感じるような状況には無く、良くなっているわけではありません。

とりわけ、中小企業や労働組合のない職場で働く仲間への賃上げの波はゆるやかであり、これまで課題とされてきました。連合長崎、構成組織と共に格差是正に向けた取り組みを強化してまいります。

今次春闘では3年連続で5%以上の賃上げをめざし、あわせて格差是正にこだわり、中小組合は6%と賃上げ水準を並べて相乗的に訴え、みんなで実質賃金を「1%上昇軌道」に乗せていきましょう。

次に、労働時間の規制緩和の動きについて触れたいと思います。

2019年より「働き方改革」に関する法律の施行が始まって約6年が経過し、この間、私たち労働組合も職場での取り組みに邁進してきましたが、残念ながら、いまだに一般労働者の総労働時間は高止まりし、過労死等による労災認定の件数も過去最多を記録しています。そのような中で、時間外労働の上限規制や、裁量労働制の拡充をはじめとする労働時間規制の緩和を求める意見が出ていることには、強い違和感を覚えます。「働き方改革」の実現を後押しする規制の強化こそあれ、緩和などあってはなりません。働き方改革を進めてきた今だからこそ、過労死等ゼロの早期実現や、働く者の健康と豊かな生活時間を確保するための「働き方改革」の実効性向上に向けた法改正こそが必要です。佐世保地協は構成組織と一丸となって、政策・運動の両面から取り組みを強化して参ります。

その政策制度実現のためには政治との関りも重要視しなければなりません。来るべく「長崎県知事



連合長崎・佐世保地域協議会
議長 攄本 洋

選挙」については、佐世保地協としても「平田 研」氏を推薦決定しています。私たちが目標とする「働くことを軸とする安心社会」の実現をめざす絶好のチャンスです。そのためには、「平田 研」候補者の当選を果たすため、連帯する労働団体、政党との連携を強化してまいりますので、全組合員・ご家族の絶大なるご支持・ご支援をお願いいたします。

次に、「組織拡大」について触れたいと思います。組織拡大の一步は、隣で働く仲間との連帯にあります。同じ職場という共通のフィールドで、働くことを軸としてつながる一人ひとりと連携して、より良い職場を実現し、より良い職業人生を共に歩む、そんな仲間づくりを進めていくことが重要だと思えます。

労働組合に携わるすべての役職員について、専従・非専従を問わず、さらには老若男女すべての皆さまに関わっていただきたいと思えます。決して、簡単なことではありませんし、地道な活動となります。組織の総力を挙げて、縦・横・斜めとすべての角度から一緒に働く仲間に向けてコミュニケーションを続けていくことが、組織拡大や減少への歯止めにつながると信じて取り組んで参りましょう。

最後に、私たちは、あらためてお一人おひとりが自分自身と向き合い、職場の仲間と連携し、お互いを尊重する社会を実現していくことが、新たな社会、労働運動を築く第一歩として、佐世保地協役員一同、支えあえる組織として奮闘してまいります。

今年一年が皆さんにとって輝かしい一年となることを祈念してごあいさついたします。

2026年労働三団体「旗開き」



榎本実行委員長挨拶

2026年1月16日(金)18:30～JA佐世保ホール6階・大ホールにおいて、ご来賓、各労働団体構成組織の組合役員70名参加のもと「2026年労働三団体旗開き」が開催されました。「労働三団体旗開き」は連合佐世保地協、佐世保地区労、同盟友愛北部支部の三団体で実行委員会を設置し、榎本実行委員長(連合佐世保地協・議長)、赤星副実行委員長(佐世保地区労・議長)、藤原副実行委員長

(同盟友愛北部支部・代表幹事)他、実行委員で構成し毎年開催されております。

式典では、主催者を代表し榎本実行委員長より、年頭のあいさつに加え「2026春季生活闘争の取り組み」「長崎県知事選挙」等についてあいさつがなされました。ご来賓として連合長崎より荒瀬副会長、県北振興局「伊藤幸繁次長」、佐世保市「西本眞也副市長、立憲民主党「饗庭県連副幹事長」・社民党「埴県連代表」・国民民主党「小野原県連副幹事長」よりそれぞれごあいさつをお受けし、その他多くのご来賓をご紹介します、祝電メッセージ披露、最後に向こう1年を労働三団体に集う多くの仲間と運動を進めるため、榎本実行委員長による団結ガンバローで締めくくりました。



連合長崎 荒瀬副会長



参加者による回結ガンパロー



社民 堤代表



立民 饗庭幹事長代行



国民 小野原副幹事長

佐世保地協第20回定期総会



連合長崎佐世保地域協議会は、2025年11月15日15:00より佐世保市労働福祉センターにおいて、総会代議員43名、役員23名出席とご来賓15名のご臨席をいただき『第20回定期総会』を開催しました。

総会は、議長団に橋口代議員（国公連合）、田中代議員（交通労連）の両名を選出し、樫本地協議長より、2025春闘における成果と2026春闘に向けた思い、国政選挙における「政党」ならびに「候補者」との向き合い方等々あいさつを受け、連合長崎「中

島事務局長」をはじめとして、5名の方よりご激励のごあいさつをいただきました。

その後、休憩をはさみ議事に入り2025年度の経過報告・会計報告・監査報告・参議院選挙総括を行い、引き続き議案審議に入り、第1号議案「2026年度活動方針」、第2号議案「2026年度予算」、第3号議案「地協再編・統合方針」、第4号議案「2026年度～27年度役員選出」の審議を行い、全てについて総会代議員の満場一致で承認を受けました。

なお、本総会をもって、肥後副議長（JP労組）、家本副議長（北松ブロック）、浜本事務局次長（北松ブロック）、法山幹事（自治労）、太田幹事（UAゼンセン）、畑元幹事（基幹労連）、松口幹事

(電力総連)、市瀬幹事(北松ブロック)、の8名が任期満了により退任されました。これまでのご尽力に対し感謝いたします。

これに伴い、北川修司氏(JP労組)宮本晃好氏(北松ブロック)、崎田英樹氏(北松ブロック)、山口順之氏(自治労)、松永伸一氏(UAゼンセン)、末永正憲氏(基幹労連)、前新宏和氏(JP労組)、長島広大氏(電力総連)、鋒屋和利氏(北松ブロック)が新たに加わりました。ご活躍にご期待いたします。

第9回福祉まつり開催



ダンス!ダンス!ダンス!



なんか変! 榎本実行委員長



佐世保地区労福協、ろうきん、こくみん共済coopによる第9回福祉まつりは、12月13日(土)11:00より佐世保駅みなと口広場において、約800名のご来場をいただき、盛会のうちに開催されました。

榎本実行委員長の開会のあいさつの後、あいにくの天候でバンド演奏は中止とはなりましたが、ダンスは披露されました。

会場内の出店テントでは、から揚げ・焼き鳥・カレーにうどんなど多くのご来場の皆さまも舌鼓を打ち、大いにオナカをふくらませることができたのではないのでしょうか。また、各組織のご協力で多くの賞品が寄せられた、お楽しみの抽選会につきましては、例年通り盛大な大抽選会となりました。また、子ども向けのゲームコーナーでは、楽しみながらチャレンジすることもできました。

最後に昨年よりボリュームアップした「餅まき」を行って無事終了となりました。

事前の準備や、雨の中での運営・後片付け、また、抽選会の商品提供までご協力をいただきました福

社団体、組織、各組合、組合員の皆さまに深く感謝申し上げます。大変お疲れさまでした。

ツカエル君とピット君



恒例のもちまき

佐世保地区労福協「ライフプランセミナー」

昨年10月24日（金）に「高齢者向け（40名参加）」、12月5日に「若年者向け（47名参加）」と
いずれも佐世保市労働福祉センターにおいて、佐世保地区労福協主催による「ライフプランセミナー」
を開催しました。

【高齢者向け】

九州労働金庫佐世保支店の上田拓弥氏より「ゆとりある老後に向けた資産形成について」、
こくみん共済coop佐世保支所の窪田淳兵氏からは「セカンドライフに向けて」をテーマに講義
いただきました。



九州労働金庫 上田拓弥 講師



こくみん共済coop 窪田淳兵 講師

受講風景



【若年者向け】

こくみん共済 coop 佐世保支所の榮 雄一郎 氏からは「ライフプランセミナー」、九州労働金庫佐世保支店の前田 紗野子 氏より「ライフプランに合わせた 資産形成について」をテーマに講義いただきました。



こくみん共済 coop 榮雄一郎 講師

九州労働金庫 前田紗野子 講師

受講風景



【長崎県知事選挙】

任期満了に伴う長崎県知事選挙は、2月8日に投開票され、連合長崎推薦候補者「平田 研」氏は、現職知事との激戦を7,000票弱で制し無事初期の目的を達成した。

今回の知事選挙は、36年振りという衆議院選挙と重なったこともあり、前回知事選から投票率が、9.4ポイントも上昇した。平田候補が、「停滞する長崎県政の浮揚」、「西九州新幹線の全線フル規格」といった公約の実現に向け、副知事として培った経験と国土交通省の官僚として国との強固なパイプを持つ同氏に多くの期待が寄せられたのが、今回の結果につながったのではないのでしょうか。

今後は、公約の一つに掲げた「県北知事室」の実現と、知事としての手腕に期待するものであり、「政策・制度」の実現にも大いに期待したい。

年初から、様々な集会等にご参加いただき誠にありがとうございました。

<当日有権者数> 県内全域；101,055,583人 投票総数；604,536人

<投票率> 57.27% (+9.44P)

候補者名	得票数	得票率	当・落
平田 研 (推薦 58歳・無所属・新人)	287,134票	48.35%	当選
大石賢吾 (43歳・無所属・現1期)	280,346票	47.21%	次点
筒井涼介 (32歳・無所属・新人)	26,390票	4.44%	落選

【第51衆議院議員選挙】

2026年早々に高市首相が衆議院の解散をほのめかし、1月23日開会する「通常国会冒頭」において、衆議院を解散して、「高市首相の信任選挙」と銘打ち、解散総選挙の暴挙に出た。

これを受け、立憲民主党と公明党は、急きょ大同団結し、中道改革連合（略称：中道）を結党して解散総選挙へ備えた。しかしながら、拙速な結党と総選挙への準備不足は否めずに、自民党は、単独で戦後最大の衆議院定数の2/3を占める316議席を獲得して大勝し、中道改革連合は、公示前の1/3に満たない49議席と惨敗した。

【長崎県第1区】

<当日有権者数> 329,796人 投票総数；183,435人 (有効；179,073 無効；4,368)

<投票率> 55.62% (+4.70P)

候補者名	得票数	得票率	当・落
西岡秀子 (61歳・国民・現3期)	93,931票	52.45%	当選
浅田ますみ (51歳・自民・新人)	52,794票	29.48%	比例当選

【長崎県第2区】

<当日有権者数> 391,976人 投票総数；229,516人 (有効；225,183 無効；4,333)

<投票率> 58.55% (+5.15P)

候補者名	得票数	得票率	当・落
山田勝彦 (46歳・中道・現3期)	72,951票	32.40%	落選
加藤竜祥 (45歳・自民・現2期)	126,751票	56.29%	当選

【長崎県第3区】

<当日有権者数> 338,797人 投票総数；191,220人 (有効；184,934 無効；6,277)

<投票率> 56.44% (+3.51P)

候補者名	得票数	得票率	当・落
田崎耕太 (43歳・中道・新人)	51,525票	27.86%	落選
金子容三 (43歳・自民・現2期)	133,418票	72.14%	当選



初当選の「平田研」氏



当選を祝し「バンザイ三唱」



敗戦の田崎候補



山田代表お礼のあいさつ

【編集後記】

年の初めから、皆さまには、「長崎県知事選挙」、また、突発的な解散に伴う「衆院選」と大変お世話になりました。樫本議長の「新年のあいさつ」をいただいて、発行の予定でございましたが、月遅れの新年号となり大変申し訳ございません。

2026春季生活闘争がスタートしました。もうすでに「要求書」の提出がお済みの組織もあろうかと存じます。先行組合が粘り強い交渉により勝ち取った、「賃上げ」が地場・中小労組の「底上げ」「底支え」につながり、さらには最低賃金の引き上げにも影響いたします。

物価高騰に負けない、「実質賃金プラス」つながる交渉をご祈念いたします。